

2019年6月14日

各 位

会 社 名 株式会社エイチーム
 代 表 者 名 代表取締役社長 林 高生
 (コード番号：3662)
 問 合 せ 先 執行役員 社長室長 光岡 昭典
 (TEL. 052-747-5573)

特別損失の計上並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年7月期第3四半期連結会計期間（2019年2月1日～平成2019年4月30日）において、特別損失を計上すると共に、2019年9月7日に公表いたしました2019年7月期通期連結業績及び期末配当予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、2019年7月期第3四半期連結会計期間において、特別損失計432百万円を計上いたしました。

(1) 固定資産の減損損失について

2018年5月21日にリリースしたゲームアプリ「三国BASSA!!」に係る開発費等において、投資回収の可能性が低いとの判断に至ったことから、減損損失298百万円を計上いたしました。

(2) 投資有価証券評価損について

当社が保有する投資有価証券について、簿価に比べて実質価格が下落したため、投資有価証券評価損134百万円を計上いたしました。

2. 業績予想の修正

(1) 2019年7月期通期連結業績予想の修正（2018年8月1日～2019年7月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	40,000	4,000	4,000	2,600	131.70
今回修正予想 (B)	37,000	2,850	2,850	1,500	76.89
増減額 (B-A)	▲3,000	▲1,150	▲1,150	▲1,100	
増減率 (%)	▲7.5	▲28.8	▲28.8	▲42.3	
(ご参考) 前期実績 (2018年7月期)	37,674	4,701	4,730	3,306	170.40

(2) 修正の理由

売上高に関しまして、ライフスタイルサポート事業の売上が期初予想を上回り推移しているものの、エンターテインメント事業及びEC事業が期初予想を下回る推移となり、全体では売上が未達で着地する見込みであります。

なお、営業利益、経常利益につきましては、主にエンターテインメント事業の売上の減少に伴う利益の減少に加え、新規ゲームの開発に向けた人員の増加による利益寄与の減少及びEC事業の黒字化未達に伴い、期初の予想を下回る着地となる見込みであります。

さらに、当第3四半期連結会計期間において、「三国BASSA!!」に係る開発費等のソフトウェア資産を中心に432百万円の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を下回る見込みであります。

以上を踏まえ、2019年7月期通期連結業績予想数値を以下の通り修正いたしました。

上記の将来に対する記述、以下の業績予想数値は、本資料発表日現在において当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

3. 配当予想の修正

(1) 2019年7月期期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2018年9月7日発表)	0円00銭	32円50銭	32円50銭
今回修正予想		16円00銭	16円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2018年7月期)	0円00銭	32円50銭	32円50銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の持続的な向上と企業体質の更なる強化を目指しつつ、20%前後の配当性向で継続還元を行うことを基本方針としております。

2019年7月期につきましては、特別損失の計上による親会社株主に帰属する当期純利益の予想修正に伴い、株主還元方針に基づき、2018年9月7日に公表の期末配当予想を1株当たり16円00銭とすることといたしました。

今後も上記の基本方針に従い、株主の皆様に対する適切な利益還元策を都度検討してまいります。

以上